

令和5年度臨時評議員会

日時：令和6年3月22日（金）14時00分～

場所：大分センチュリーホテル2階 桜の間

出席者 (43名)	堤 聖一	行村 豊喜	河野 義樹	竹丸由香里	五所 睦雄
	結城 順史	今村 泰三	大塚 正士	姫野 雅道	大平 雅哉
	佐藤 公隆	米津 康広	矢田 哲司	森 留雄	大石 祥一
	升巴 正博	高野 初雄	安藤 和宏	原 勇人	三宅 文子
	三澤 博文	宮本 達美	吉田 友春	矢津田博明	渡邊真由美
	伊藤 進	大田 和代	得丸 清	園田 隆洋	高橋 和孝
	千鳥 安雄	八坂 一範	東 海斗	秋吉 常博	檜原 靖昭
	藤原 直也	久保 芳久	植田 克己	佐藤 寿幸	清原 俊樹
	村田 浩一	園田 啓助	北崎 匡		

欠席者 (24名)	高橋 伸介	石川 義隆	安東 英児	軸丸 秀樹	奥村 正二
	島村 浩信	水之江 浩	波津久郁生	安部 定文	佐藤慎二郎
	山田 昌信	戸高 元貴	高山英一郎	藤本 学	高柳 優子
	鶴崎 清貴	川辺宏一郎	川野 明寿	後藤 方彦	衛藤 朗
	角田 茂樹	小島 安国	志賀 一哉	塚崎 一孝	

議事録作成者 専務理事 佐保 宏二

資格確認 押田総務部長が出席者43名で、定数の過半数の出席であることから、本会定款第22条により本会が成立することを報告した。

1 開会のことば

押田総務部長が開会のことばを述べた。

2 あいさつ

佐保専務理事があいさつを述べた。以下あいさつ文。

本日は、評議員会を開催しましたところ、皆様方には、年度末の大変御多用な中、御出席をいただき、感謝申し上げます。また、平素から、本県のスポーツ振興並びに本会の諸事業の推進に格別の御支援と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年5月に新型コロナウイルス感染症の扱いが5類に移行したことに伴い、本会の今年度の事業については、コロナ前と同様に実施することができました。中でも、昨年、鹿児島県で開催されました、特別国民体育大会では、「チーム大分」長年の目標でありました「天皇杯得点1000点」を見事達成し、天皇杯得点1091.5点、天皇杯順位18位という、素晴らしい成績を収めることができました。

今年は、佐賀県で国民スポーツ大会が開催されますが、既に冬季大会が終了しており、参加した選手は「チーム大分」の一員として精一杯の戦いをさせていただきました。次の戦いは、第78回国民スポーツ大会「SAGA2024」の代表権をかけた、九州ブロック大会となります。2年連続「天皇杯得点1000点」の達成に向け、1つでも多くの代表権を獲得したいと思っております。

また、県内の直近のスポーツイベントでは、先月11日に、本県スポーツ少年団最大のイ

べントであります「大分県スポーツ少年団駅伝交流大会」を開催し、昨年を上回る69団から661名の選手が参加してくれました。大会の開催に御尽力を賜りました関係の皆様へ御礼を申し上げます。

あと1週間ほどで新年度となりますが、令和6年度はパリオリンピックや北部九州インターハイが開催されます。こうした大会での本県選手の活躍を大いに期待しているところですが、佐賀国スポに向けた競技力の向上や、中学校運動部活動の地域移行、また、登録・認証制度の本格的な実施となった総合型地域スポーツクラブに関する事など、課題もあります。今後も、加盟団体や関係機関との連携をより緊密にし、諸課題の解決に取り組んでいきたいと考えておりますので、皆様方の一層の御支援・御協力をお願いいたします。

結びに、本日は、午前中の理事会で審議いたしました、来年度の「運営方針」、「事業計画」、「収支予算」などについて御説明させていただきます。皆様方には、忌憚のない御意見を賜りますようお願い申し上げます、あいさついたします。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

3 議長選出

本会評議員会規程第3条「評議員会の議長は、その評議員会において、出席した評議員互選により選任する。」に従い、押田総務部長が議場へ諮ったところ、事務局に一任するとの声が挙がった。そのため事務局案を以下のとおり提案し、全会一致で承認された。

大分県高等学校体育連盟理事長 北崎 匡 氏

評議員会議事録の署名については、本会定款第23条第2項に「議長は議事録に記名押印する」と明記されている旨を伝えた。

《北崎氏よりあいさつをいただいた》

以下、北崎議長による進行

4 報告事項

以下の報告事項について宮成常務理事兼事務局長より、説明がなされた。

- (1) 令和5年度事業報告について
- (2) 令和5年度国民体育大会第43回九州ブロック大会及び特別国民体育大会成績について
- (3) 第78回国民スポーツ大会冬季大会成績について
- (4) 各種大会成績について

【(1) 令和5年度事業報告について】

レジュメ1ページ～9ページになります。令和5年度事業について御報告いたします。時間の都合上、逐一の説明は割愛させていただきますが、抜粋して御報告いたします。

1ページを御覧ください。No. 4 5月30日に、大分県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会総会を開催し、事業報告、決算、令和5年度予算案について協議いたしました。No. 9 6月9日に、第1回スポーツ医科学委員会を開催し、令和5年度の医科学関係事業について協議いたしました。

2ページを御覧ください。No. 21 7月9日に、大分県スポーツ少年団スポーツ外傷・障害防止研修会を開催し、井上ドクター、高橋アスレティックトレーナーを講師とし、少年

団関係者に対して御講義いただきました。

3 ページを御覧ください。No. 37 8月5日から7日に、スポーツ少年団日独同時交流事業でドイツ団5名を受入れ、和文化体験やスポーツ体験を行いました。

4 ページを御覧ください。No. 49 9月6日に、第2回理事会を開催いたしました。副会長、専務理事他、役員の皆様にご出席いただき、中期経営計画等について協議いたしました。

5 ページを御覧ください。No. 60 10月7日～17日に、特別国民体育大会に、会長、副会長、専務理事などが大分県本部役員として御対応いただきました。御承知の通り、13年振りに目標の天皇杯得点1000点を獲得いたしました。No. 64 10月29日に、令和5年度ガバナンス研修会を開催しました。本県出身で、日本スポーツ協会事務局長の岩田史昭氏を講師に迎え、スポーツにおいてガバナンス・コンプライアンス確保はなぜ必要かについて御講演いただきました。

6 ページを御覧ください。No. 68 11月9日に、第2回九州地区スポーツ協会連絡協議会に参加し、九州各県の代表者と議題について協議いたしました。

7 ページをお開きください。No. 81 12月9日から10日に、九州クラブネットワークアクション2023を本県で開催し、九州各県から100名を超える総合型地域スポーツクラブ関係者が参加しました。当日はスポーツ庁、日本スポーツ協会からの情報提供もあり、活発な協議がなされました。No. 85 12月16日に、大分県スポーツ指導者研修会を開催し、鹿島アントラーズFC取締役の吉岡宗重フットボールダイレクターにプレイヤーセンタードなアプローチについて御講演いただきました。

8 ページを御覧ください。No. 91 1月19日に、第3回理事会を開催いたしました。会長、副会長、専務理事をはじめ、役員の皆様にご出席いただき、補正予算等について協議いたしました。No. 97 2月11日に、本会主催の第32回大分県スポーツ少年団駅伝交流大会を開催し、県下各地から男女あわせて69団が参加し、駅伝を通じて交流をいたしました。

9 ページをお開きください。No. 98 2月14日に、大分県スポーツ協会表彰式を開催し、会長、副会長、専務理事の出席のもと、表彰者全員に賞状と盾を麻生会長より授与いたしました。

令和5年度の事業報告については、以上でございます。詳細については後刻御覧ください。

【(2) 令和5年度国民体育大会第43回九州ブロック大会及び特別国民体育大会成績について】

別冊の資料を御覧ください。令和5年度に実施された第43回九州ブロック大会及び特別国民体育大会(鹿児島国体)の成績をまとめたものです。

1 ページをお開きください。第43回九州ブロック大会代表権獲得数・順位一覧でございます。国民体育大会の予選となる九州ブロック大会ですが、赤枠で囲っていますが、本県の代表権獲得数は九州第4位の54でございました。上位県には、次年度国民スポーツ大会を開催する佐賀県、一桁順位常連の福岡県でございました。

2 ページから25 ページには大会結果の詳細を掲載しております。後刻御覧ください。

26 ページをお開きください。次に、特別国民体育大会成績について、御報告いたします。冬季大会が青森県と岩手県で、本大会が鹿児島県で開催されました。1の大分県の総合成績ですが、天皇杯得点は1091.5点、総合順位は18位となり、平成22年の千葉国体以来13年ぶりに、「チーム大分」の目標でありました天皇杯得点1000点を大きく超える歴史的な大会となりました。

次に、2の都道府県総合成績を御覧ください。総合優勝は、昨年に続き、開催県が獲得できず、東京都が獲得いたしました。上位10県には、大阪府、愛知県、埼玉県、神奈川県な

ど人口順位10位以内の府県が位置しております。10位以降を見ますと、兵庫県、北海道といった人口順位の上位県に加え、国体を開催した又は開催予定であった福井県、三重県、栃木県、また、来年以降開催予定の佐賀県、滋賀県が位置している状況でございます。こうした中、人口順位34位、平成20年の大分国体から15年が経過した本県が1091.5点を獲得し、18位に位置したことは誇れることであり、本県のスポーツの力を全国に発信できたと考えております。

27ページを御覧ください。団体競技の優勝一覧でございます。記載のとおり、ゴルフ、フェンシング、なぎなた、アーチェリー競技が優勝いたしました。中でもゴルフ競技の成年男子が初優勝いたしました。

28ページをお開きください。個人競技の優勝一覧でございます。記載のとおり、空手道、ライフル射撃、陸上競技の3競技8種目で優勝いたしました。中でも空手道競技の成年女子大野ひかる選手は4大会連続優勝を果たしました。報道等で御承知の通り、今年度で選手生活を引退することになりました。これまで本県スポーツのシンボリックな選手でございました。本当にお疲れ様でございました。

29ページを御覧ください。大分県選手団の入賞一覧でございます。23競技83種目の入賞でございました。これは大分国体後では過去最高の入賞種目数でございました。

30ページから45ページには、鹿児島国体に出場した本県選手団の全記録を掲載しております。逐一の説明は割愛させていただきますが、後刻御覧ください。

以上でございます。

【(3) 第78回国民スポーツ大会冬季大会成績について】

続いて、レジュメ10ページを御覧ください。1月末並びに2月中旬に開催されました第78回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技とスキー競技の大分県選手団の成績です。スケート競技に1名、スキー競技に15名の選手が出場し、記載の通りの結果となっております。

冬季競技については、練習環境がない中、他県に出向いてトレーニングを行い、冬季大会に参加することで参加点を獲得していただいております。本当にありがとうございます。

詳細については後刻御覧ください。以上でございます。

【(4) 各種大会成績について】

次に、レジュメ11ページから17ページにかけて、上段に記載のとおり、令和5年5月22日から令和6年3月10日までの期間において、全国大会・国際大会ベスト8以上の成果をあげた本県関係者の記録を掲載しております。なお、国体については、別途国体成績で報告しておりますので、記載はございません。逐一の説明は割愛いたしますが、後刻御覧ください。

なお、今後3月下旬には、高校の全国選抜大会が続々と開催されますので、引き続き、本県関係チーム・選手の活躍を期待したいと思います。

《北崎議長が、上記の件について議場に質疑を求めた》

《質疑無し》

5 説明事項

以下の説明事項について宮成常務理事兼事務局長より、説明がなされた。

(1) 令和6年度運営方針及び専門委員会等基本方針について

(2) 令和6年度事業計画について

(3) 令和6年度収支予算について

【(1) 令和6年度運営方針及び専門委員会等基本方針について】

レジュメ18ページをお開きください。午前中に開催いたしました、理事会において承認をされました、令和5年度運営方針及び専門委員会基本方針について御説明いたします。レジュメでは、全て案となっておりますが、案を消していただければと思います。

まず令和6年度公益財団法人大分県スポーツ協会運営方針でございます。ねらい、基本方針は、令和5年度から変更はございません。重点的取組としては、4点を挙げています。まず一つ目は、第78回国民スポーツ大会での天皇杯目標得点の獲得に向けた競技力向上対策の推進です。昨年達成した天皇杯得点1000点を今年も目標として設定し、その達成に向けて、競技力向上対策本部や競技団体、企業、学校等と連携し、競技力向上対策を推進していきます。二つ目は、財政基盤の確立と財務体制の強化です。今年度、策定した中期経営計画に基づき、新たな賛助会制度を構築し、自主財源確保に向けて、賛助会の更なる拡充に取り組みます。三つ目は、登録・認証制度を通じた総合型地域スポーツクラブの資質向上でございます。クラブの創設期を経て、今後はクラブ育成の推進、資質の向上に取り組みます。四つ目は、誰もが安全・安心にスポーツを楽しめる環境作りにむけた、Nオスポハラ活動の推進です。全国的にもスポーツ界のハラスメントの報道を目にします。また残念ながら本県も昨年度、多くのスポーツハラスメント案件がございました。我々としては、本県からスポーツハラスメントを出さないよう啓発活動に取り組んでいきます。日本スポーツ協会も重点課題としており、本県も指導者協議会と連携し、スポーツ少年団、総合型クラブ、企業、学校など、関係者にNオスポハラ啓発に取り組んで参ります。

19ページをお開きください。次に、競技力向上委員会の基本方針でございます。ねらい、基本方針、重点的取組については、令和5年度と同様でございます。この基本方針に則り、20ページの第78回国民スポーツ大会の目標達成を目指します。2年連続の天皇杯得点1000点獲得を目指し、キーワードを下段記載の「20・10・5」としてしています。20・10・5とは、競技得点獲得が20競技以上、30点以上獲得が10競技以上、その中で50点以上獲得が5競技以上を表しております。また記載の団体8競技で150点以上を目指します。これは1000点獲得に向けて、過去10大会を分析し、本県が1000点を獲得するための得点モデルでございます。

21ページには、過去10年間の天皇杯得点・順位の推移を掲載しております。

22ページの「スポーツ大分パワーアップ事業実施要項」、23ページの令和6年度強化指定一覧、24ページの令和6年度強化指定個人については、2月19日に開催した競技力向上委員会にて協議を経て、本日理事会にお諮りしたものです。

22ページのスポーツ大分パワーアップ事業の内容については、令和5年度の事業内容と大きな変更はございません。この内容で引き続き、効果的な競技力向上対策を推進していきたいと考えております。

23ページの、強化指定一覧につきましては、昨年の指定をベースに、鹿児島国体をはじめ過去3大会の国体成績等を踏まえ、ランクの入れ替えや団体の入れ替え等をしております。24ページの、強化指定個人につきましても、各選手の実績や鹿児島国体の成績を踏まえランクの入れ替えや新規の指定をしております。

25ページをお開きください。次に、スポーツ医科学委員会基本方針でございます。こちらも、内容は令和5年度から変更はございません。こちらの内容についても、3月8日に開催しました第3回スポーツ医科学委員会での協議を経て、本日理事会にお諮りしたものです。来年度も、この基本方針に基づき、医科学関係者とより一層の連携を図り、選手のサポート体制の整備や医科学における諸問題の解決に取り組めます。

26ページを御覧ください。次に、大分県スポーツ少年団基本方針でございます。こちらにも、基本的な内容は令和5年度と同様ですが、重点的取組を一つ追加しています。三つ目の項目です。今年度、本県で、「第47回全国スポーツ少年団剣道交流大会」を開催することから、この大会の成功に向け、競技団体等と連携を図り、大会の成功に向けて準備いたします。なお、この基本方針についても、3月7日に開催しましたスポーツ少年団常任委員会での協議を経て、本日理事会にお諮りしたものです。

令和6年度運営方針及び専門委員会等基本方針については以上でございます。

【(2) 令和6年度事業計画について】

レジュメ27ページ・28ページを御覧ください。令和6年度事業計画一覧でございます。こちらにも案を消していただければと思います。1が理事会・評議員会等の会議、2が全国・九州関係の会議、3～5が国民スポーツ大会関係行事、6は本会関係専門委員会等の会議並びに事業、③のスポーツ少年団関係は、県内・九州・全国の会議の他、各種研修会や日独スポーツ少年団同時交流、各種大会への派遣など、大変多くの事業を計画しております。28ページ中段の、④は、総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の関係行事、7は本会主催会議、8が日本スポーツ協会委託事業、9が表彰関係事業、10が広報関係事業、11が募金関係事業、12がその他の事業でございます。記載の日程については、あくまで予定でございますので、変更する場合もございます。御理解をお願いいたします。

御覧の通り、来年度も多岐にわたり各種事業に取り組むこととしておりますが、一方で、行事に参加される本会関係者の負担軽減や、本会職員の働き方改革を推進するための環境整備も喫緊の課題です。今後も行事の精選について、引き続き、検討を続けていきたいと思っております。

事業計画の説明は以上でございます。

【(3) 令和6年度収支予算について】

29ページをお開きください。収支予算につきましても、午前中の理事会で承認されましたので、案を消していただければと思います。ただし、現在、県議会において令和6年度予算について審議中でございますので、本日提示する収支予算のうち、県からの補助金につきましては、県議会の議決を前提として提案するものであることを御了承願います。

それでは、慣例により、公益目的事業3事業と法人会計をまとめた、A3の概要版で説明させていただきます。表の両端に記載の数字は行数でございます。行数を示して御説明いたします。

まず、2行目から48行目までが収入の部となる経常収益、49行目から71行目までが支出の部となる経常費用でございます。77行目に今年度の収支となる当期経常増減額計の記載がございます。また、前年度予算額については、第3回理事会において承認された補正後の予算となっております。

続いて、経常収益です。3行目の特定資産運用益1千円、4行目の受取会費1575万9千円、10行目の事業収益1322万2千円、28行目の受取補助金等2億6731万3千円、38行目の受取寄附金672万3千円、45行目の雑収益49万6千円、48行目の経常収益計3億351万4千円で、前年比1632万8千円の増です。これは九州ブロック大会の開催地が今年度は大分県開催でしたが、来年度は宮崎県での開催となっており、国スポ派遣費が増額したこと等によるものでございます。

次に、経常費用です。50行目の大分県スポーツ振興事業2億5351万4千円、54行目の大分県スポーツ少年団事業850万6千円、61行目の大分県スポーツ普及・表彰事業776万円、68行目の上記3事業の事業管理費2974万2千円、70行目の法人会計管理費698万1千円、71行目の経常費用計3億650万3千円で、前年比1828万3千

円の増です。経常収益同様の理由によるものです。

77行目の収支差額となる当期経常増減額ですが、298万9千円の赤字見込みの予算編成となっております。大きな要因としては、来年度開催されます全国スポーツ少年団剣道交流大会にかかる経費、またスポーツ安全協会普及事業の契約が委託契約となり契約変更によるものでございます。

大きな赤字見込みでございますが、68行目の3事業の事業管理費を525万2千円の経費節減、70行目の法人会計管理費も64万1千円の経費節減をした上での赤字見込みでございます。更なる経費節減を図りながら、次年度は本会運営に取り組んで参ります。なお、各会計の詳細については、30ページから33ページに掲載しております、後刻御覧ください。

収支予算の説明は以上でございます。

《北崎議長が、上記の件について議場に質疑を求めた》

《質疑無し》

6 その他

以下のことについて宮成常務理事事務局長より、説明がなされた。

- (1) 評議員の変更について
- (2) 今後の評議員会の開催について
- (3) 令和5年度賛助会加入状況について

【(1) 評議員の変更について】

資料はございません。既に、各団体事務局を通じて御連絡をさせていただきましたが、現評議員の皆様は4年間で、令和8年度までとなっております。任期途中で人事異動等に係る変更に伴い、変更をおこなう必要がある場合は、その旨事務局まで御連絡いただきますようお願い申し上げます。

【(2) 今後の評議員会の開催について】

34ページをお開きください。評議員会を開催については、午前中の理事会で、日時及び場所並びに議事に付すべき事項を決定致しましたので御報告いたします。臨時評議員会、定時評議員会の詳細については、記載の通りでございます。

【(3) 令和5年度賛助会加入状況について】

続いて、(3) 賛助会員加入状況について御説明いたします。レジュメ35ページをお開きください。3月10日時点の賛助会員加入状況でございます。お陰様をもちまして、法人会員、個人会員の両方で過去最高となる賛助会加入状況でございます。

法人会員は180件、個人会員が162件であり、前年比で、法人が21件増、個人が13件増となりました。下段に記載がございます賛助会費総額は、前年比62万5千円増の702万円でございます。賛助会員一覧を掲載しておりますが、理事の皆様をはじめ、多くの皆様の御理解、御協力に改めて感謝申し上げます。

中期経営計画で御提案した通り、次年度からは新たな賛助会制度を構築し、2027年末までに賛助会費総額1000万円を達成できるよう取り組んで参ります。来年度も引き続き御協力を賜りますようお願い申し上げます。

その他の説明は以上です。

《北崎議長が、上記のことについて議場に質疑を求めた》

《質疑無し》

《北崎議長が、その他発言があるか議場に確認した》

園田評議員（県中体連）

大分県中体連理事長の園田と申します。平素より、皆様には大変お世話になっております。ありがとうございます。

本日は、本連盟主催大会につきまして、大会に関わる18競技の団体様にはお願い、他の団体様にはお知らせをさせていただきたいと思っております。

今年度よりスポーツ庁等の要請を受けまして、本連盟主催の大分県中学校総合体育大会におきまして、地域クラブ活動（部活動が地域移行した団体）が参加できるよう特別規程を作成し、実際に参加しております。しかし、その課題と成果を受け、令和6年度からお手元の文書にありますように、参加の規程を緩和し、更に多くの中学生に大会へ参加してもらうようにしたいと考えております。この緩和に関しまして、詳しくは県中体連のホームページにも掲載しておりますが、各競技団体のチーム等にもこの文書を周知していただけますとありがたいと思っております。

概要としては、今年度は、部活動が地域移行した地域クラブ活動といったようなチームのみが参加しておりましたが、令和6年度に関しては、参加資格の特例を守っていただければ、どんなチームでも参加できるように緩和しております。参加資格の中で大きなものとしては、県教育委員会が出している、大分県学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する方針にもあります、適切な休養日の設定をしているクラブチームなどがございます。また、これは、九州大会や全国大会に繋がっていく大会となっておりますので、全国中学校体育連盟から出ております競技毎の細則も守っているチームが対象となっております。

文書の裏面に、問合せ先を掲載しておりますので、何かありましたら、こちらにお尋ねいただきたいと思います。

県中学校体育連盟からのお願い、お知らせでございます。

7 閉会のことば

押田総務部長が閉会のことばを述べた。

令和6年3月22日

議長 北崎 匡